地域課題・ニーズシート

整理番号	F	団体名	岡山県津山市 環境福祉部脱炭素社会推進室	検討の段階	■ 構想　■ 調査・検討 □ 事業化検討
取り組みたい分野		水素エネルギーの利活用（製造・輸送・利用）に関する先進事例の調査・見学			
関連する地域課題		地域経済の活性化・地域産業の振興			

①解決したい課題

毎年実施している水素関連の先進企業の見学について、津山から日帰りできる新たな見学先を見つけたい

② 主に相談したいこと（提案先の指定にはこの課題番号をお使いください）

課題番号	相談したいこと	求めている情報・提案の例
Ｆ－１	水素関連施設の見学	水素の製造・貯蔵・輸送・利用のいずれかに関わる施設・設備で、見学を受け入れていただけるもの。20名程度を想定
Ｆ－２	実用化された技術・製品	商品化・社会実装済みの水素の技術・製品や、水素ステーション・燃料電池車の部品などサプライチェーンに関わる製造現場
Ｆ－３	見学の内容・受入れの条件	見学できる設備と内容（仕組みの説明、運用状況の紹介、試乗・実演など）、受入れ可能な人数・時期などの条件

上記に限らず、課題の解決につながるご提案を幅広く歓迎します。

③想定される連携先の例（これに限りません）

水素の製造・貯蔵・輸送・供給（水素ステーション等）を行う事業者／燃料電池・水素利用機器のメーカー／水素ステーション・燃料電池車等の部品・素材のメーカー／水素を利用する工場・事業所、燃料電池バス・燃料電池車等を運行する事業者／水素関連の実証事業に取り組む事業者

④ 検討の状況・留意事項

・見学は年１回、市・県・産業支援機関の職員や、希望する民間企業など20名程度で実施しています。人数は受入れ側のご要望に合わせて調整します ・津山からバスで日帰りできる範囲（概ね150～200km以内）を想定しています ・大学の研究室レベルの研究ではなく、少なくとも実証を始めている段階の技術・施設を想定しています ・内陸の山間部にある市のため、船舶関係（水素燃料船など）は想定していません ・見学に費用（入場料等）が必要な場合は、参加者がそれぞれ負担します ・来年度以降も継続して実施する予定のため、複数の企業・施設のご提案を歓迎します。過去に見学させていただいた施設でも、新たな設備・取組が加わっている場合は歓迎します

⑤背景・現状

・市では、水素エネルギーの利活用に関する調査研究として、水素関連の先進企業の見学を毎年実施している ・これまでに燃料電池バス、水素ステーション、製造から利用までの実証施設、研究施設などを見学した ・近隣で見学できる施設が限られてきており、毎年の見学先の確保が課題となっている ・水素の本格的な普及には時間がかかると考えられることから、継続して情報収集を進めたい

⑥これまでの取組

・水素関連の先進企業の見学を毎年実施（岡山県、産業支援機関、民間企業などと合同） ・水素の利活用に関する任意の検討会を通じた、関係機関・企業との情報交換

【お問合せ先】地域脱炭素中国地方版マッチングイベント事務局（備前グリーンエネルギー株式会社内）
E-mail：bge@bizen-greenenergy.co.jp　TEL：0869-63-3600